

令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

I 事業活動の概要

令和4年度の我が国の経済は、ウイズコロナの下、社会経済活動の正常化が進み、サービス消費を中心に回復基調に向かって動き出した。

一方、ロシアによるウクライナ侵略を背景とした国際的な原材料価格の上昇に加え、円安の影響などから、エネルギー・食料品等の価格上昇が続き、世界的な景気後退への懸念が高まっている。

政府は、「日本経済の再生」を最優先の課題とし、新しい資本主義の旗印の下で、「物価高・円安への対応」、「構造的な賃上げ」、「成長のための投資と改革」を重点分野として取り組むこととしている。

こうした状況の中で、「国民生活と経済のライフライン」としての重要な役割を担うトラック運送業界は、貨物自動車運送事業法に係る時限措置延長への取り組みをはじめ、「標準的な運賃」の活用等による適正な運賃・料金の収受を図るため、運賃届出、荷主との交渉に一層取り組むべき1年であったが、依然として厳しい経営環境が続いている。

一方で、当協会では、トラック運送事業者が社会との共生を図り、安全・安心で質の高い輸送サービスの提供を行うため、燃料高騰対策等の推進、輸送秩序確立対策、適正化事業推進対策、交通及び労災事故防止対策、環境・省エネ対策など次の事業に積極的に取り組んだ。

第1 事業活動

1 燃料高騰対策等の推進

地域経済と国民の暮らしを支える公共輸送サービスを今後も安定的に提供していくため、関係行政機関・全日本トラック協会など関係団体とも連携しながら燃料高騰対策等を推進した。

(1) 会費の一部免除

コロナ禍における燃料価格高騰が企業規模を問わず拡大しており、会員に対する緊急支援対策として令和4年度の会費の一部（7月から9月までの3ヶ月分）を免除した。

(2) 燃料費負担の軽減に資する補助制度の創設

全日本トラック協会等を通じて、政権与党の国会議員に対して燃油・物価高騰対策支援制度の実現を訴えるとともに、協会においては、兵庫県知事を訪問し燃料費負担の軽減に資する補助制度の創設について要望し、その結果、7月から「燃油高騰対策一時支援金（車両1台につき7千円）」、11月からは「省エネ化支援金（低燃費等タイヤ1本につき5千円）」が交付された。

① 燃油高騰対策一時支援金

申請事業者 1,984 社 申請台数 37,408 台 支援金 261,856,000 円

② 省エネ化支援金

申請事業者 962 社 申請本数 52,750 本 支援金 263,750,000 円

2 輸送秩序確立対策

トラック運送の使命は、物資の安定供給、安全輸送の確保であり輸送秩序を確立することが重要である。そのためには、長時間労働の是正、適正運賃・料金の収受及び輸送の安全を阻害する行為の防止、さらに貨物自動車運送事業法の改正に伴う主要施策の一体的な取り組みが必要である。

また、安全・安心なトラック輸送への信頼を確かなものとし安全対策に積極的に取り組むとともに、荷主とトラック運送事業者とのパートナーシップ確立に向け次の諸施策を積極的に推進した。

これらの取り組みを実効性のあるものとするため、事業の実施に当たっては、関係行政機関と緊密に連携を図った。

(1) 「標準的な運賃」の活用等による適正な運賃・料金収受

① 「標準的な運賃」の活用及び原価管理の徹底等による適正運賃・料金の収受

ア 荷主等に対して「標準的な運賃」がトラック運送業界の健全な発展のために必要な制度であることについて積極的に広報・周知活動を行った。

イ 標準的な運賃と自社の原価の関連を踏まえた交渉方法など、標準的な運賃の活用によって適正運賃収受に繋がるセミナー等を開催した。

- ・ 「標準的な運賃 交渉用パンフレット」を作成（6月、近畿トラック協会）
荷主企業へ向けての交渉用パンフレットを作成、運送事業者の皆様に「運賃アップ」や「環境改善」に活用いただいた。
- ・ 「標準的な運賃活用セミナー」の開催（10月6日神戸） 参加者延べ53名
講師：日本PMIコンサルティング㈱ 代表取締役 小坂 真弘氏
- ・ 「標準的な運賃説明会」の開催（8月25日東播地区、11月15日但馬地区）
参加者延べ20名 講師：適正化事業部
- ・ 物流セミナーの開催（10月31日）参加者101名
第1部 テーマ「最近のトラック事業に関する取り組みについて」
講師：近畿運輸局 自動車交通部 貨物課 課長 金澤 重之 氏
第2部 テーマ「運送業界の現状と問題点について」
講師：京都大学院工学研究科（都市社会工学）教授
京都大学レジリエンス研究ユニット長 藤井 聡 氏
- ・ 適正運賃収受に向けた新聞広告を活用した広報活動を実施
- ・ 「標準的な運賃」、燃料高騰による運送事業への影響と燃料サーチャージ制度の周知を図った。
- ・ 荷主懇談会（大雪の影響により中止）

(2) 荷主対策の深度化の推進

ア 事業者の違反原因行為をしている荷主情報の収集を図るため、会員事業者、ドライバー等に対し、国土交通省の意見投稿サイトの積極的な周知を図った。

イ 国土交通省（兵庫陸運部）と連携し、事業者の違反原因行為をしている荷主情報を収集した。

(3) 長時間労働の是正及び取引環境の改善等への適切な対応

① 長時間労働の是正及び取引環境の改善等働き方改革関連法への適切な対応

ア 「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」の適切な開催・運営に取り組み、近畿運輸局・兵庫陸運部及び兵庫労働局と連携を図った。

イ 令和5年4月からの月60時間超の時間外割増率50%の中小事業者への適用について、幅広く周知を図り、時間外労働上限規制への対応を促進した。

② 改善告示基準の見直し等「物流の2024年問題」に向けた対応

厚生労働省に設置された「自動車運転者労働時間等専門委員会」で検討されている「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準（改善基準告示）の見直しの内容を会員事業者に積極的な周知を図るとともに、自動車運転者の時間外労働の上限規制、年960時間の規制の適用も併せて周知を行った。

また、令和4年12月23日の改正後には令和6年4月から適用される改善基準告知の改正内容を広報するとともに、労働基準監督署による荷主要請等、長時間労働抑制に向けた諸対策についての周知を一層積極的に進めた。

(4) 輸送秩序を阻害する行為の防止とコンプライアンスの推進

- ① 輸送の安全を阻害する行為の防止や法令遵守の指導
- ② 運輸安全マネジメント国土交通省認定セミナーの開催
実施機関：(独法)自動車事故対策機構兵庫支所(6月8日)
(公財)関西交通経済研究センター(6月23日、24日)参加者延べ135名

(5) 輸送秩序の改善や確立のための委員会、会議等の開催

- ① 輸送秩序委員会の開催
ア 輸送秩序確立委員会
「物流の2024問題」を検討テーマとして検討した。
第1回輸送秩序確立委員会 7月25日
輸送秩序確立小委員会 10月18日、(1月17日、近畿運輸局 同席)
第2回輸送秩序確立委員会 3月8日
- ② 神戸運輸監理部兵庫陸運部との情報交換
輸送秩序改善連絡会(通称：三木会)の隔月開催

3 適正化事業推進対策

貨物自動車運送事業法第38条に基づき近畿運輸局長から指定を受けた「地方貨物自動車運送適正化事業実施機関」として、関係行政機関の指導の下、適正化事業の効果を発現するための次の諸活動を展開した。

(1) 適正化事業の推進による法令遵守の徹底

- ① 巡回指導の実施件数については、ほぼコロナ禍前の水準に戻りつつある中、新規許可事業者、悪質事業者など優先度に応じた効率的な実施及び指摘事項に係る改善報告等の事後チェックの徹底に努めた。
 - ア 巡回指導件数(年間目標：840件) 673件(前年度473件)
 - うち、新規巡回指導(運輸開始後1ヵ月以降、3ヵ月以内) 47件(前年度35件)
 - 特別巡回指導(乗務時間等告示違反に係る事業所) 0件(前年度18件)
 - 個別指導(配置車両5両未満の霊柩事業所等) 16件(前年度9件)
 - イ 重点指導項目(事業計画・社会保険等)に係る未改善事業所の行政通報 10件(改善指導件数:24件)
 - ウ 悪質性の高い営業所に係る行政通報 0件(前年度0件)
- ② 指導項目のうちワースト上位を占める項目(点呼、運行指示書、特定運転者に対する指導及び適性診断、運輸安全マネジメント)の改善に向けた重点的な取り組み
 - ・改正された「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」(改善基準告示)の情報提供並びに現行告示の遵守を前提とした運転者の労働時間・拘束時間等の適正把握を徹底
 - ・深夜早朝時における対面点呼の実施率向上に向け、運行管理補助者制度の活用を促進
 - ・過労運転を防止するため、運行指示書作成の必要性及び指示内容の正しい理解を求めた
 - ・特定運転者指導内容の正しい理解を深めるとともに適性診断の受診を推進
 - ・未だに取り組みのない事業者に対する運輸安全マネジメント制度の活用を促進
 - ・その他、関係法令の改正に伴うタイムリーな情報提供及び事業者指導
- ③ 適正化事業指導員に係る研修の充実、資質の向上
 - ア 適正化事業指導員全国研修「特別研修」 1名受講(11月10～11日)
 - イ 適正化事業指導員全国研修「スキルアップ研修」 2名受講(3月24日)
 - ウ N A S V A 第一種カウンセラー要件研修 1名受講(7月6～8日)
 - エ 産業カウンセラー養成研修 2名受講(4～2月)

(2) 安全性評価事業（Gマーク認定制度）の推進

利用者が、より安全性の高い事業者を選びやすくするための環境整備として、全国貨物自動車運送適正化事業実施機関（(公社)全日本トラック協会）が認定・公表する安全性評価事業（優良事業所認定制度）について、地方実施機関として同認定制度の周知とともに認定取得を推進した。

① 安全性優良事業所の認定状況

【兵庫県】2022年度申請事業所	269件（申請受付期間7月1～14日）
2022年度認定事業所	263件（認定事業所 計1045件・取得率30.4%）
【全 国】2022年度申請事業所	8,220件
2022年度認定事業所	7,900件（認定事業所 計28,696件・取得率33.0%）

② 認定申請説明会の開催

- ・安全性評価事業（Gマーク認定制度）説明会（5月11日、12日）

③ 荷主等利用者に対する広報

- ・神戸新聞への広告掲出（6月）

(3) 消費者対策**① 引越、宅配便に関する輸送相談****② 苦情申告に対する適確・迅速な対応**

運送事業者、荷主、一般消費者からの苦情等への対応 80件（前年度 76件）

〔内訳〕危険運転等58件、宅配関係等0件、引越等6件、その他16件

③ 引越管理者講習の充実、引越事業者優良認定制度の推進、改正標準引越運送約款の周知及び引越繁忙期に係る分散引越の広報**④ 行政機関や消費者生活センターとの連携による的確・迅速な対応****(4) 行政との連携強化等****① 適正化事業実施機関の中立性・透明性保持を目的とした兵庫県評議委員会の開催**

- ・第33回兵庫県適正化事業実施機関評議委員会（8月）

- ・第34回兵庫県適正化事業実施機関評議委員会（2月）

② 近畿ブロック適正化事業指導員研修会における近畿運輸局との情報交換（3月）**③ 兵庫陸運部担当官と適正化指導員との連絡会議（毎月1回）****④ 兵庫県過積載防止対策連絡会議に参画**

ア 第53回兵庫県過積載防止対策連絡会議（11月）

イ 強化月間を設け、道路情報掲示板や横断幕、街頭での啓発活動（2月）

⑤ 兵庫陸運部が開催する整備管理者選任後研修の開催を支援（10～2月・11回）**4 交通及び労災事故防止対策**

「トラック事業における総合安全プラン2025（2025年までに死者数と重傷者数の合計970人以下）」の達成に向け、数値目標として設定された「車両台数1万台当たりの死者数と重傷者の合計を6.5人以下」を目指し、以下の諸施策を推進した。

(1) 交通事故防止対策**① 事故防止研修・事故防止大会の開催**

ア 運行管理者試験事前講習会

（重点ポイント 姫路7月11、1月26日 神戸7月26日、2月2日

テスト実践講習 8月9日、2月21日 延べ262名）

・講 師：公益財団法人関西交通経済研究センター 主任研究員 田岡 哲哉 氏

イ 健康起因事故防止対策セミナー ～過労死等の根絶を目指して～（6月13日 26名）

・講 師：SOMPO リスクマネジメント社 リスクマネジメント本部

自動車コンサルティンググループ シニアコンサルタント 羽賀 俊之 氏

ウ 健康管理セミナー（6月7日 42名）

・講師： NPO 法人ヘルスケアネットワーク (OCHIS) 保健師 黒田 悦子 氏
NPO 法人ヘルスケアネットワーク (OCHIS) 副理事長 作本 貞子 氏
エ 運輸安全マネジメント認定セミナー

(神戸 6 月 8 日、姫路 6 月 23、24 日 延べ 135 名)

・講師： 公益財団法人関西交通経済研究センター 主任研究員 田岡 哲哉 氏
独立行政法人自動車事故対策機構 兵庫支所 豊田 奨 氏
オ 初任運転者特別講習 (10 月 4 日、2 月 24 日 兵ト協会員 47 名、大ト協会員 2 名)

・講師： 公益財団法人関西交通経済研究センター 主任研究員 田岡 哲哉 氏
独立行政法人自動車事故対策機構 大阪主管支所 藤原 秀一 氏
独立行政法人自動車事故対策機構 兵庫支所 豊田 奨 氏

カ プラン 2025 目標達成フルセミナー (6 月 13 日 19 名)

・講師： SOMPO リスクマネジメント株式会社 大阪支店
自動車コンサルティンググループ 主任コンサルタント 柿野 拓志 氏

キ 車輪脱落事故防止セミナー (9 月 16 日 33 名)

・講師 ブリヂストンタイヤソリューションズジャパン株式会社
技術サービス部 近畿技術サービス部長 木村 潤二 氏

ク トレーラの安全な使用及び関係法令改正に係わる研修会 (9 月 26 日 25 名)

・講師 一般社団法人日本自動車車体工業会 トレーラ部会
谷 長幸 氏 (東邦車輛株式会社)
君塚 秀明 氏 (昭和飛行機工業株式会社)

ケ 交通事故防止大会 (12 月 2 日 46 名)

・講師： 兵庫県警察本部 交通企画課 警部 梶野 宏和 氏
兵庫陸運部 整備部門 陸運技術専門官 振角 高宏 氏
ブリヂストンタイヤソリューションズジャパン株式会社
技術サービス本部 近畿技術サービス部長 木村 潤二 氏

② 第 50 回トラックドライバー・コンテスト兵庫県大会の開催 (7 月 23 日 28 名)

③ 適性診断の効率受診のためのナスバネット機材 (6 台) の貸し出し

・利用会員数 45 社

④ 安全運転教育用 DVD の貸し出し

・貸出本数 242 本 (本部 113 本、東部支部 25 本、明石支部 16 本、西播支部 83 本)

⑤ 無事故無違反に挑戦する「チャレンジ 100」運動への参加

(期間：10 月 1 日～1 月 8 日 100 日間)

・参加チーム 1,165 チーム (11,650 名) 達成 874 チーム (達成率 75.0%)

⑥ 交通安全運動の実施

ア 春、秋の全国交通安全運動 (春 4 月 6 日～15 日、秋 9 月 21 日～30 日)

・県下各地 (13 支部) において「交通安全啓発巡回パトロール」を実施
・「全国交通安全運動ポスター」を作成し、会員事業所に配布
・ラジオ放送を活用した啓発スポット放送を実施

イ 県主唱 年末の交通事故防止運動 (12 月 1 日～10 日)

・ラジオ放送を活用した啓発活動を実施

⑦ 県下の小学校等において児童等を対象にした「トラック交通安全教室」の開催

・実施回数 28 回

⑧ 県下の新入小学生へ小学校を通じ「交通安全啓発下敷」の贈呈

・贈呈数 49,265 枚 (777 校)

・贈呈式 3 月 29 日 兵庫県教育委員会に目録を贈呈

⑨ 「正しい運転・明るい輸送運動」(全ト協主唱) の実施

年末年始の輸送繁忙期 (期間：11 月 16 日～1 月 10 日) において、「兵ト協ニュース」などで交通事故防止等に関する広報を行った。

⑩ 近畿運輸局が実施する「年末年始の安全総点検」(期間：12/10～1/10) への協力

自主点検等を通じ、年末年始の安全確保と事故防止の徹底を図るため、「点検表」を会員事業者に送付し各項目の点検を実施、結果を取り纏め行政へ報告した。(556 社)

- ⑪ 交通遺児のための募金活動
 - ・ 6 月 16 日 (公財) 交通遺児等育成基金へ 500,000 円 寄贈
(同日、同会長から当協会会長に対し感謝状贈呈)
- ⑫ 交通安全祈願祭並びに交通事故犠牲者慰霊祭の実施
秋の全国交通安全運動期間中の 9 月 29 日及び 1 月 10 日に生田神社会館で実施
- ⑬ 年度末の交通事故防止啓発活動
交通量の増加する年度末に新聞を活用し啓発活動を実施

(2) 交通事故防止に効果のある機器導入、取り組みに対する助成

- ① 機器導入に対する助成

ア ドライブレコーダー	780 台
イ 安全装置 (バックモニター等) 等	518 台
ウ アルコール検知器	46 台
エ 血圧計	34 台
- ② 取り組みに対する助成
 - ア 適性診断受診料
 - ・ 一般診断 8,062 名
 - ・ 初任、適齢診断 4,719 名
 - イ 運行管理者基礎講習及び一般講習受講料
 - ・ 一般講習 2,528 名
 - ・ 基礎講習 854 名
 - ウ 運転免許経歴証明書交付手数料
 - ・ 23,904 名 (「チャレンジ 100」 11,645 名含む)
 - エ ドライバー等安全運転教育訓練受講料
 - クレフィール湖東交通安全研修所等における研修
 - ・ (公社) 全日本トラック協会設定コース受講者 32 名 (特別研修 19 名、一般研修 13 名)
 - ・ 兵ト協設定コース (セーフティー&エコドライブ研修 13 名)
 - オ 初任運転者安全教育受講料
 - ・ 2 名
 - カ 睡眠時無呼吸症候群 (SAS) スクリーニング検査料
 - ・ 1,069 名
 - キ 健康診断受診料
 - ・ 17,805 名
 - ク 脳ドック受診料
 - ・ 57 名 (20 社)

(3) 労働災害事故の防止

陸上貨物運送事業の労働災害発生の防止に向けて、労働災害防止計画の推進と陸運業労働者の安全及び健康確保を目指し、関係機関と連携し以下の対策を推進している。

- ① 改善基準告示の遵守、過労防止対策の推進
- ② 研修会を通じた労働災害事故防止、労災保険収支改善の啓発活動の実施
- ③ 荷積み・荷下ろし等の荷役作業時の労災事故防止のために作業環境改善について、荷主への理解・協力要請
- ④ 巡回指導時に啓発リーフレットを活用した情報提供、相談業務の推進
- ⑤ 健康診断の受診、睡眠時無呼吸症候群 (SAS)、新型インフルエンザ等対策の推進
- ⑥ 陸上貨物運送事業労働災害防止協会兵庫支部との連携を密にし、労働災害防止に向けた諸活動の実施

5 環境・省エネ対策

社会との共生を図りトラック運送業界の持続的発展を目指すため、地球環境の保全、環境負荷の低減に向けた業界の自主的取り組みである新・環境基本行動計画「環境ビジョン 2030」を踏まえつつ、低炭素に向けた環境啓発活動を推進するとともに、関係行政機関や（公社）全日本トラック協会と連携を図りながら、次の諸事業に積極的に取り組んだ。

(1) 環境対応車の導入促進及び最新規制適合車への代替促進のための助成

① 環境対応車等の購入、リースに係る費用助成

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ア ハイブリッド車 (Hyb) の導入 | 16 台 |
| イ クリーンディーゼル車(28 年排ガス基準適合車)の導入 | 459 台 |
- ② 最新規格適合車購入資金借り入れに対する近代化基金を利用した利子補給
・ハイブリッド車の購入 (0 台)

(2) エコドライブの促進のための助成

① NO_x・PMの排出削減、燃料消費削減に効果のある機器の導入促進

ア エコドライブ管理システム(EMS)用機器導入費用助成

- ・車載器の導入 337 台

イ エコタイヤ装着費用助成

- ・新品タイヤの装着 3,126 本
・リトレッドタイヤの装着 229 本

ウ アイドリングストップ促進のための蓄熱マット等補助装置導入費用助成

(一社)兵庫県トラック協会

- ・蓄熱マット等の導入 7 枚
・蓄冷式クーラの導入 2 台

(公社)全日本トラック協会

- ・エアヒーターの導入 5 台
・車載バッテリー式冷房装置の導入 9 台

② エコドライブ研修の受講費用助成

- ・エコドライブ研修受講 21 名

(3) グリーン経営等の認証取得の促進

地球温暖化対策の一環として、トラック運送事業者による自主的、継続的な環境改善への取り組みを支援した。

① 環境マネジメントシステム認証取得費用助成

- | | |
|--------------------|--------|
| ア グリーン経営の認証取得 | 29 事業所 |
| イ エコアクション 21 の認証取得 | 3 事業所 |
| ウ ISO14001 の認証取得 | 4 事業所 |

② グリーン経営講習会の実施 (1 月)(新型コロナウイルス感染症影響により 1 回のみ開催)

(4) 排ガスクリーン化対策(ディーゼルクリーン・キャンペーン)等

地球環境に配慮した走行の実現のため、関係行政機関等と連携した車両点検整備の確実な実施や不正軽油使用排除の啓発等を行った。

- | | |
|-----------------------|-----------------------------------|
| ① ディーゼル黒煙、不正軽油排除等街頭検査 | 実績 4 回 |
| ② ディーゼルクリーン・キャンペーン | 不正改造排除運動 6 月
点検整備推進運動 9 ～ 10 月 |

(5) 環境キャンペーン運動等の実施

エコドライブ推進月間(11 月)における環境キャンペーン・エコドライブ運動等の実施

① 環境キャンペーンの実施

県下各地（13支部）にて、環境対策への取り組みを一般の方々にPR

② エコドライブ運動の実施

ア 「兵庫県トラック協会」、「ラジオ関西」、「道の駅(県下36箇所)」のコラボ形式で、エコドライブ啓発活動を実施、また、環境と物流を考えるフォーラム開催について広報を行った。

イ エコドライブ意識調査の実施

会員事業者の協力を得て、所属ドライバーにエコドライブチェックシートによる自己採点を実施、ドライバーが自身の運転を振り返りチェックすることでエコドライブの意識向上を図るとともに、報告されたチェック結果を分析し、その周知啓発を図った。

※ 報告数：152社（2,144名）

ウ エコドライブ運動の一環として、2月にエコドライブ推奨ラジオCMを放送し、会員事業者、トラックドライバー等へエコドライブ啓発を行った。

(6) 環境と物流を考えるフォーラムの開催

開催趣旨：「トラック運送事業が社会に果たしている役割やその重要性、また環境対策への取り組み、社会との共生を目指した交通事故防止対策などについて広く理解いただき、併せて、トラック運送業界及び会員事業者の環境改善への取り組みの有効性を知っていただく」

開催日：令和4年11月25日 開催場所：兵庫県トラック総合会館

参加者：70名

内容：① 講演Ⅰ「トラック運送業界の環境ビジョン2030」について

・講師：公益社団法人全日本トラック協会 交通・環境部長 大西 政弘 氏

② 講演Ⅱ「今、中小トラック事業者が取り組むべきSDGsとは！」

・講師：一般社団法人兵庫県中小企業診断士協会 中小企業診断士 岡部 清一 氏

③ 講演Ⅲ「運輸交通分野のカーボンニュートラル化を巡って～主要国のエネルギー事情や産業政策から商用車のこれからを考える～」

・講師：SOMPOインスティテュートプラス株式会社

シティ・モビリティグループ 主任研究員 新添 麻衣 氏

④ エコドライブチェックの取り組み報告

・報告者：公益財団法人関西交通経済研究センター 古賀 圭郁 氏

(7) 「トラックドライバーのための減災BOOK」（アプリ版）の更新

トラックドライバーが運行中に地震・台風等自然災害に遭遇した場合に的確な判断が出来るよう最新の情報等を取り入れた「トラックドライバーのための減災BOOK」（アプリ版）の更新をした。

6 緊急輸送対策

今後も予想される大規模災害発生時に備え、国や地方自治体と連携し、緊急・救援物資輸送を迅速に行うため以下の施策を実施した。

(1) 災害時における物資等の緊急輸送等に関する協定の締結

- ・西脇市と「災害時における物資等の緊急輸送に関する協定」締結（7月15日）
- ・三木市と「災害時における物資等の緊急輸送に関する協定」締結（3月29日）

(2) 令和4年9月の台風に伴う緊急物資輸送

令和4年9月 台風14号による強風と大雨で被害が発生したことから、西宮市より要請があり、次の通り輸送を行った。

- ・期間：9月19日～9月21日

- ・避難所感染症対策キット及び毛布・タオル等の輸送 4 tトラック、2台 軽貨物 1台
- ・輸送実施：兵庫トランスポート株式会社、三光運送株式会社、ケイエム運輸有限会社

(3) 鳥インフルエンザの発生に伴う緊急物資輸送

令和4年11月13日に兵庫県たつの市で高原病性鳥インフルエンザが発生し、兵庫県からの要請により次の通り焼却処分する鳥の焼却所までへの輸送を実施した。

- ・輸送台数(延べ数) 212台(大型 14台、4t 197台、大型ユニック 1台)
淡路通運株式会社、株式会社三共運諭、佐川急便株式会社
- ・フォークリフト(延べ数) 27台 オペレーター 21名
株式会社新宮運送、龍野運送株式会社

(4) 防災訓練

- ① 神戸市 BCP 協議会 情報伝達訓練(図上訓練) 6月23日
- ② 令和4年度 兵庫県・播磨広域合同防災訓練 多可町中央公園等 9月4日
大型車輛1台(東神戸支部)、中型車輛1台(北播支部)
- ③ 神戸市災害時物資円滑供給検討会実動訓練(兵庫県・神戸市物資搬送実動訓練)
(実動訓練及び図上訓練) 佐川急便株式会社神戸支店 9月8日
大型車輛1台(東播支部)、事務局1名
- ④ 大阪湾・播磨灘排出油等防除協議会情報伝達訓練(図上訓練) 9月22日
- ⑤ 関西広域応援訓練(実動訓練及び図上訓練) 兵庫県広域防災拠点 10月20日
大型車輛1台、中型車輛1台、フォークリフトオペレーター1名(明石支部)
事務局1名
- ⑥ 福井県原子力総合防災訓練(実動訓練) みなとドーム 11月6日
中型車輛1台(西播支部)

7 税制対策等

トラック運送事業の輸送コスト抑制を図るため、自動車関係諸税の軽減や高速道路通行料の引き下げ及び割引制度の拡充等について関係機関等に要望を行った。また、兵庫県に対しては、運輸事業振興助成交付金の全額交付について要請を行った。さらに、新型コロナウイルス感染拡大による輸送量の減少に加え、燃料価格の高騰を受けた経営危機を打開するため、兵庫県トラック協会、兵庫県タクシー協会、兵庫県バス協会の自動車運送3団体による「燃料価格高騰に関する自動車運送業界からの要望書」を提出し対策の実現を訴えた。

- ① 政党への要望行動
 - ・自由民主党兵庫県支部連合会への令和5年度予算(政府・県)に関する要望、意見交換会(9月9日、3月14日WEB会議)
 - ・自由民主党神戸市議員団への令和5年度予算に関する要望、意見交換会(10月6日、3月17日)
 - ・公明党兵庫県本部との政策要望懇談会(5月13日)
 - ・地元国会議員への各支部による令和5年度トラック関係施策に関する要望(9月、10月)
 - ・自由民主党兵庫県支部連合会への令和5年度トラック関係施策に関する要望(9月12日)
 - ・公明党兵庫県本部への令和5年度トラック関係施策に関する要望(9月12日)
- ② 兵庫県知事への運輸事業振興助成交付金に関する要請(10月31日)
- ③ 兵庫県知事への自動車3団体による燃料価格高騰に関する要望(5月12日)
- ④ 兵庫県、神戸市への阪神高速道路料金の見直し凍結に係る要望(12月21日)

8 中小企業近代化対策

トラック運送事業の経営革新を図るため、(公社)全日本トラック協会と連携し、中小企業新事業活動促進法の普及・促進に努めるとともに、次の事業を実施した。

(1) 経営改善への取り組み、効率的な事業経営の促進

- ① 総合経営診断受診の促進
 - ・診断受診料の助成

- (一社)兵庫県トラック協会 3 社
- ② 経営分析のための経営実態調査の実施
経営実態調査の資料提出 24 社 (全国 2,826 社)
- ③ 信用保証協会保証料助成事業の実施
セーフティネット制度利用に係る信用保証協会保証料及び利子補給の助成
 - ・信用保証料助成 8 件
 - ・利子補給助成 232 件
- ④ インボイス制度等説明会の開催
 - ・9 月 22 日 兵庫県トラック総合会館 参加者 37 名
 - ・9 月 30 日 西部研修会館 参加者 22 名

(2) 輸送効率向上と IT 化の促進

- ① 日本貨物運送協同組合連合会と連携
 - ・188 協同組合加入 3,978 事業者 (令和 5 年 3 月末現在)
 - (参考) 兵庫県 16 協同組合加入 128 事業者 (令和 5 年 3 月末現在)
- ② 中小トラック運送事業者のための IT 活用セミナーの開催
12 月 1 日 兵庫県トラック総合会館 参加者 20 名

(3) 新型コロナウイルス感染症予防対策特別支援措置

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている会員事業者に対し、新型コロナウイルス感染症防止に係る物品 (体温計、アルコール検知器、マスク、消毒液 (アルコール、次亜塩素酸)、感染対策パーテーション等) 購入助成を実施した。(115 件)

9 労働力の確保及び人材育成

近年、少子高齢化の進行等により、トラック運送事業においても良質な労働力を確保することが困難となっていることから、労働力の確保及び人材育成のため次の事業を実施した。

(1) 労働力確保対策の推進

- ① 新規採用ドライバー等の準中型免許を含めた運転免許取得に対する助成
(一社)兵庫県トラック協会 大型 117 名・中型 40 名・準中型 4 名・けん引 40 名
8t 中型限定解除 8 名・5t 限定(準中型)解除 3 名
(公社)全日本トラック協会 準中型 4 名・5t 限定(準中型)解除 4 名
- ② テールゲートリフター導入に対する助成 71 台 (43 社)
- ③ 人材確保等支援助成 (ドライバーの求人募集に係る費用の助成) 93 社
- ④ 「働きやすい職場認証制度」及び労務対策セミナーの開催
8 月 16 日 兵庫県トラック総合会館 参加者 18 名
講 師：株式会社滝澤・佐藤事務所 代表取締役 滝澤 学 氏
- ⑤ 「標準的な運賃」活用セミナー(基礎編)の開催
10 月 6 日 兵庫県トラック総合会館 参加者 27 名
講 師：日本 PMI コンサルティング株式会社 代表取締役 小坂 真弘 氏
- ⑥ トラック運送事業者のための同一労働同一賃金対応セミナーの開催
11 月 9 日 兵庫県トラック総合会館 参加者 31 名
講 師：株式会社 NX 総合研究所 リサーチ&コンサルティング ユニット 2
シニアコンサルタント 金澤 匡晃 氏
- ⑦ トラック運送事業者のための人材確保セミナーの開催
11 月 22 日 兵庫県トラック総合会館 参加者 32 名
講 師：株式会社コヤマ経営 代表取締役 小山 雅敬 氏
- ⑧ 「働きやすい職場認証制度 (二つ星)」説明会の開催
1 月 27 日 兵庫県トラック総合会館 参加者 20 名

講師：三井住友海上火災保険株式会社（三井住友海上経営サポートセンター）
営業推進部 地域法人マーケットチーム 次長 山下 賢二 氏

- ⑨ 高校生を対象とした就職説明会等でのトラック業界のアピール
 - ・就職フェア for 定通 2023 7月16日 神戸市立摩耶兵庫高等学校
- ⑩ ハローワークと連携しトラックドライバー採用に向けた就職ガイダンスを開催した
(4回開催)

伊丹(8月24日)、西宮(8月25日)、神戸(9月1日)、明石(11月16日)

- ⑪ 「トラックの日」広報活動
 - サンテレビで「トラックの日」を広く県民に広報
 - ・「キヨピーが迫るトラックの日 SP-まだまだ知りたいトラック輸送-」 10月9日及び3月16日（再放送）
 - ・「キヨピーが迫るトラックの日 SP-知られざるトラック輸送の世界-」（令和3年放送分再放送）10月9日
- ⑫ テレビCM、新聞広告を利用した広報
人材確保の一環としてトラック輸送の重要性等を広く一般に広報
- ⑬ 人材確保のためのDVDを作成しYouTubeを使用した広報を行った。

(2) 人材育成対策の支援

- ・青年部会の活動支援 全国物流青年経営者中央研修会（2月）
- ・中小企業大学校(関西校) 受講料助成 2名

10 広報対策

荷主企業や一般消費者に運送業界の取り組みを宣伝し、更に消費者が必要とする情報の提供を行うとともに、国や（公社）全日本トラック協会、当協会の事業を会員に周知するため、広報活動を実施した。

(1) ホームページの活用

ホームページを業界内外に向けた情報発信の基盤的役割を担うツールとして位置づけ、コンテンツの充実を図るとともに、年間を通じてタイムリーな情報提供を行った。

(2) 月刊会報誌「兵ト協ニュース」の発行

月刊会報誌「兵ト協ニュース」を12回（1回約2,100部）発行し、会員事業者、関係行政機関、都道府県トラック協会等へ配布し、協会の活動状況、行政機関からの連絡事項、講習会等の案内等、会員向けの情報提供に努めた。

(3) 新聞広告、ラジオ放送等の活用

安全運転、環境に優しい運転、引越の際のポイントやトラックドライバーの労働条件改善に関することを一般市民に広報した。

(4) トラックの日（10月9日）のPR活動

交通安全、交通公害の防止への取り組みやトラック輸送が国民生活や産業活動に不可欠なものであることを広くアピールし、トラック輸送のイメージアップを図ることを目的に実施した。

- ・トラックの日の行事検討プロジェクト会議の開催
トラックの日の行事について企画・運営等を検討
6回開催(6月15日、7月6日、7月19日、8月4日、8月9日、9月21日)

ア 街頭キャンペーン活動

- ・実施期間、場所 10月9日前後 県下各地域(7支部)

イ トラックの日イベント（新型コロナウイルス感染症影響により中止し、代替企画として

サンテレビでPR番組を制作・放送)

11 地区輸送サービスセンター活動の強化等

トラック運送事業に関し、市民に対する情報の提供や利用者からの苦情に対応し、安全で安心できる良質のトラック輸送サービスの向上を図るため、支部における次の諸活動に対し支援した。

- (1) 市民に対する標準引越約款や新消費者保護関連法令に関する情報等の提供
- (2) 荷主、一般消費者からの苦情や相談業務
- (3) 交通事故防止や環境保全等に関する啓発運動等の実施

12 業種別専門輸送対策の実施

部会において、業種別諸課題について迅速かつ的確な対応を図った。

13 その他

地区輸送サービスセンター及び兵庫県トラック総合会館、西部研修会館の効率的な管理運営に努めるとともに、必要な修理・修繕を行う等維持管理に努めた。

第2 表彰関係

1 叙勲（旭日双光章）

原 岡 謙 一 氏	株式会社原岡運送店	令和 4 年 11 月 3 日
-----------	-----------	-----------------

2 国土交通大臣表彰

経営功労者

木 南 一 志 氏	株式会社新宮運送	令和 4 年 10 月 25 日
-----------	----------	------------------

運転者

上 岡 吉 行 氏	株式会社ブルーテック	令和 4 年 10 月 25 日
黒 田 英 作 氏	株式会社浜田運送	令和 4 年 10 月 25 日
玉 田 義 一 氏	有限会社御立輸送	令和 4 年 10 月 25 日
西 川 橋 藏 氏	株式会社新宮運送	令和 4 年 10 月 25 日
藤 原 登 氏	姫路合同貨物自動車株式会社	令和 4 年 10 月 25 日

3 近畿運輸局長表彰

永年勤続（中間管理者）

石 川 香 氏	西日本エア・ウォーター物流株式会社	令和 5 年 2 月 17 日
木 村 正 章 氏	石見サービス株式会社	令和 5 年 2 月 17 日
名 定 則 夫 氏	株式会社丸鹿	令和 5 年 2 月 17 日
松 岡 昭 氏	株式会社新宮運送	令和 5 年 2 月 17 日

永年勤続（運転者）

青 木 成 巳 氏	常磐運輸株式会社	令和 5 年 2 月 17 日
大 栗 勝 則 氏	有限会社丸福物流サービス	令和 5 年 2 月 17 日
名 定 恭 史 氏	株式会社丸鹿	令和 5 年 2 月 17 日
福 井 顕 和 氏	株式会社ヨシダ商事運輸	令和 5 年 2 月 17 日
村 井 芳 邦 氏	西日本エア・ウォーター物流株式会社	令和 5 年 2 月 17 日

村 岡 和 之 氏 株式会社ゼロ・プラス西日本

令和 5 年 2 月 17 日

安全性優良事業所(Gマーク)

株式会社 HI-LINE 尼崎共配センター

令和 4 年 11 月 24 日

都宝産業株式会社 尼崎営業所

令和 4 年 11 月 24 日

協栄運輸株式会社 本社営業所

令和 4 年 11 月 24 日

株式会社竹谷運輸 六甲営業所

令和 4 年 11 月 24 日

ますもと運輸株式会社 本社営業所

令和 4 年 11 月 24 日

菱華運輸株式会社 神戸営業所

令和 4 年 11 月 24 日

西日本エア・ウォーター物流株式会社 明石営業所

令和 4 年 11 月 24 日

ダイワ運輸株式会社 神戸営業所

令和 4 年 11 月 24 日

常磐運輸株式会社 本社

令和 4 年 11 月 24 日

日東運輸株式会社 龍野営業所

令和 4 年 11 月 24 日

4 兵庫陸運部長表彰

安全性優良事業所(Gマーク) 17 社(20 事業所)

令和 4 年 11 月 17 日

運行管理者

乙 野 晴 久 氏 乙野運送株式会社

令和 4 年 8 月 29 日

木 南 理 希 氏 株式会社三洋運輸

令和 4 年 8 月 29 日

原 貞 市 氏 株式会社松原組運送

令和 4 年 8 月 29 日

5 (公社)全日本トラック協会長表彰

優秀運転者

金十字賞 4 人

令和 4 年 12 月 1 日

銀十字賞 20 人

令和 4 年 12 月 1 日

事業役員 13 人

令和 5 年 3 月 2 日

事 業 所 1 団体

令和 5 年 3 月 2 日

従 業 員 4 人

令和 5 年 3 月 2 日

6 (一社)兵庫県トラック協会長表彰

事業役員 11 人

令和 4 年 6 月 16 日

中間管理者 2 人

令和 4 年 6 月 16 日

運 転 者 21 人

令和 4 年 6 月 16 日

Ⅱ 組 織 等

第1 組 織 の 概 要

1 事 務 所 神戸市灘区大石東町2丁目4番27号

2 会 員 数 2,119 社
(令和5年3月31日現在)

3 本年度中の会員の異動

入	会	50 社
退	会	36 社

4 業種別会員の内訳

一 般	1,973 社
一般 (特別積合)	29 社
特 定	4 社
霊 柩	46 社
利 用 運 送	67 社
計	2,119 社

5 役 員 等

理 事	53 人
会 長	1 人
副 会 長	6 人
常 任 理 事	13 人
専 務 理 事	1 人
常 務 理 事	1 人
理 事	31 人
監 事	3 人
名 誉 顧 問	1 人
顧 問	2 人
相 談 役	4 人

6 職 員 25 人
(令和5年3月31日現在)

男	子	17 人
女	子	8 人

第2 組 織 の 運 営

1 (一社)兵庫県トラック協会関係

(1) 総 会

第64回定時総会 令和4年6月16日 都ホテル尼崎

- ・令和3年度事業報告(案)を承認
- ・令和3年度公益目的支出計画実施報告(案)を承認
- ・令和3年度計算書類(案)(貸借対照表、正味財産増減計算書)の承認についての決議
- ・理事2名の選任について

(2) 理 事 会

- 第1回 令和4年5月31日 兵庫県トラック総合会館
・令和4年度交付金事業会計補正予算（案）を承認
・令和3年度事業報告及びその附属明細書を承認
・令和3年度計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）及びその附属明細書等を承認
・令和3年度公益目的支出計画実施報告を承認
・会員の入会を承認
・役員候補者推薦を承認
・定款第28条第7項に基づく業務執行状況の報告
- 第2回 令和4年11月18日 （書面開催）
・令和4年度一般会計補正予算（案）を承認
・会員の入会を承認
・就業規則等改正（案）を承認
・定款第28条第7項に基づく業務執行状況の報告
・令和4年度9月末における収支予算の執行状況の報告
・令和5年度トラック関係施策に関する要望の報告
- 第3回 令和5年3月23日 兵庫県トラック総合会館
・令和4年度運輸事業振興助成交付金事業会計補正予算（案）を承認
・令和5年度事業計画（案）を承認
・令和5年度一般会計収支予算（案）及び研修会館特別会計収支予算（案）を承認
・令和5年度運輸事業振興助成交付金事業会計収支予算（案）及び事業計画（案）を承認
・令和5年度交付金事業運営関連特別会計収支予算（案）を承認
・施設等運営事業基金の一部処分（案）を承認
・令和5年度地方貨物自動車運送適正化事業実施機関事業計画（案）及び収支予算（案）を承認
・第47回近代化基金融資等の公募枠（案）を承認
・会員の入会を承認
・会長表彰候補者を承認
・定款第28条第7項に基づく業務執行状況の報告

(3) 常 任 理 事 会

- 第1回（総務委員会合同） 令和4年5月19日 兵庫県トラック総合会館
・令和4年度第1回理事会上程議案を承認
- 第2回（総務委員会合同） 令和4年10月26日 兵庫県トラック総合会館
・令和4年度第2回理事会上程議案を審議
- 第3回（総務委員会合同） 令和5年3月7日 兵庫県トラック総合会館
・令和4年度第3回理事会上程議案を審議

(4) 会長・副会長会議

- 第1回 令和4年5月19日 兵庫県トラック総合会館
・常任理事会、理事会及び定時総会の開催方法について協議
・当面の諸課題について協議
- 第2回 令和4年6月16日 都ホテル尼崎
・総会議案について協議
・当面の諸課題について協議
- 第3回 令和4年9月29日 生田神社会館
・当面の諸課題について協議
- 第4回 令和4年10月26日 兵庫県トラック総合会館
・当面の諸課題について協議

- ・常任理事会上程議案について協議
- 第5回 令和4年12月6日 兵庫県トラック総合会館
- ・当面の諸課題について協議
- 第6回 令和5年1月10日 兵庫県トラック総合会館
- ・当面の諸課題について協議
- 第7回 令和5年3月7日 兵庫県トラック総合会館
- ・当面の諸課題について協議
- ・常任理事会上程議案について協議

(5) 常任理事・支部長連絡会議

- 第1回 令和4年12月6日 兵庫県トラック総合会館
- ・「標準的な運賃」届出促進について協議
- ・燃油高騰対策等支援状況について説明
- ・令和4年度トラック関係補正予算について協議

(6) 委員会

令和4年度における各委員会では、トラック運送事業が国内物流の大半を担う公共的な輸送機関として使命の達成と社会との共生を図るため、交通安全、事故防止、環境対策、輸送サービスの向上及び業界の近代化・合理化対策、労働力確保対策等、各般にわたる諸対策事業について協議した。

① 総務委員会

- 第1回（常任理事会合同） 令和4年5月19日 兵庫県トラック総合会館
- 第2回 令和4年8月2日 兵庫県トラック総合会館
- ・副委員長の選任
- ・令和5年度トラック関係施策に関する要望活動について
- ・協会荷物配送業務の委託について協議
- ・「標準的な運賃」に係る届出について
- 第3回（常任理事会合同） 令和4年10月26日 兵庫県トラック総合会館
- 第4回（常任理事会合同） 令和5年3月7日 兵庫県トラック総合会館

② 物流政策・交付金委員会

- 第1回 令和4年5月11日 兵庫県トラック総合会館
- ・令和4年度運輸事業振興助成交付金事業会計補正予算（案）を承認
- ・令和3年度運輸事業振興助成交付金事業報告について
- ・令和3年度運輸事業振興助成交付金事業会計及び交付金事業運営関連の特別会計に係る決算報告を承認
- ・第45回近代化基金融資公募結果の報告
- 物流政策小委員会（10/28）
- ・人材確保のためのDVD作成について協議
- 第2回 令和5年2月22日 兵庫県トラック総合会館
- ・令和4年度物流政策事業報告（中間）
- ・令和5年度物流政策事業計画（案）を承認
- ・令和4年度運輸事業振興助成交付金事業会計補正予算（案）を承認
- ・令和5年度運輸事業振興助成交付金事業会計収支予算（案）及び事業計画（案）を承認
- ・令和5年度交付金事業運営関連特別会計収支予算（案）を承認
- ・第47回近代化基金融資推薦公募枠（案）を承認

③ 交通対策委員会

- 第1回 令和4年8月8日 兵庫県トラック総合会館
- ・令和4年度交通対策委員会関係事業計画（案）について承認

- ・交通安全運動の助成範囲拡大に関する要望について承認
- ・ドライブレコーダー一体型車載器のカメラ増設に対する助成について協議

第2回 令和5年2月27日

- ・令和4年度交通対策委員会関係事業報告（中間）
- ・令和5年度交通対策委員会関係事業計画（案）を承認
- ・支部委託事業に関する要綱及び契約書の変更について承認

④ 環境対策委員会

第1回 令和4年8月8日 兵庫県トラック総合会館

- ・令和4年度環境対策委員会関係事業計画（案）について協議
- ・令和4年度環境キャンペーンについて

第2回 令和5年2月28日

- ・令和4年度環境対策委員会事業報告（中間）
- ・令和5年度環境対策委員会関係事業計画（案）を承認

環境対策小委員会（8/25）

- ・環境と物流を考えるフォーラムの開催について協議

⑤ 輸送秩序確立委員会

第1回 令和4年7月25日

- ・令和4年度事業計画に基づく活動方針について協議

第2回 令和5年3月8日

- ・令和4年度事業報告（中間）
- ・令和5年度事業計画（案）を承認

輸送秩序確立小委員会（10/18 1/17）

(7) 監 査 等

① (一社)兵庫県トラック協会監事監査 令和4年5月9日 兵庫県トラック総合会館

- ・令和4年度事業報告・計算書類及び附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書など、理事の職務執行について監査

② 近畿運輸局

- ・令和3年度運輸事業振興助成交付金事業実施報告

令和4年5月10日 大阪合同庁舎第4号館

- ・令和4年度運輸事業振興助成交付金事業計画及び資金計画

令和4年5月10日 大阪合同庁舎第4号館

③ 兵庫県

- ・令和3年度運輸事業振興助成交付金事業実施報告

令和4年4月9日 兵庫県庁

- ・令和4年度運輸事業振興助成交付金事業計画及び資金計画

令和4年4月27日 兵庫県庁

- ・令和3年度公益目的支出計画実施報告

令和4年6月17日 兵庫県庁

2 (公社)全日本トラック協会関係

(1) 総 会

第99回通常総会 令和4年6月30日 第一ホテル東京

- ・令和3年度事業報告書並びに計算書類（貸借対照表(案)、正味財産増減計算書(案)、付属明細書(案)、財産目録(案)、収支計算書(案)）の承認について
- ・定款の変更(案)について

- ・理事、監事の選任(案)について

(2) 理 事 会

- 第 195 回 令和 4 年 6 月 2 日 第一ホテル東京
- ・令和 3 年度事業報告書並びに計算書類（貸借対照表(案)、正味財産増減計算書(案)、収支計算書(案)）等について
 - ・会員の入退会及び代表者の変更(案)について
 - ・第 99 回通常総会の招集について
- 第 196 回 令和 4 年 6 月 30 日 第一ホテル東京
- ・会員の入退会及び代表者の変更（案）について
 - ・副会長、常任理事等の選定(案)について
- 第 197 回 令和 4 年 7 月 11 日 第一ホテル東京
- ・会員の入退会（案）について
- 第 198 回 令和 4 年 12 月 1 日 第一ホテル東京
- ・会員の入退会及び代表者の変更（案）について
 - ・令和 5 年度事業計画書骨子(案)について
 - ・令和 4 年度優秀運転者顕章候補者(案)について
 - ・令和 5 年度主要会議・行事開催日程(案)について
- 第 199 回 令和 5 年 3 月 2 日 第一ホテル東京
- ・令和 5 年度事業計画書(案)について
 - ・令和 5 年度一般会計収支予算書(案)、交付金特別会計収支予算書(案)、鈴木基金特別会計収支予算書(案)について
 - ・会員の入退会及び代表者の変更(案)について
 - ・全ト協表彰規程に基づく表彰及び「正しい運転・明るい輸送運動」に係る表彰(案)について
 - ・定款第 27 条に基づく業務報告について

(3) 常 任 理 事 会

- 第 223 回（理事会合同） 令和 4 年 7 月 11 日 第一ホテル東京

(4) 委 員 会 等

各委員会において、令和 5 年度税制改正・予算要望他、交通安全、事故防止、環境対策、輸送サービスの向上、近代化・合理化対策、労働対策、各般にわたる事業について検討した。

(5) 全国専務理事業務連絡会議

- 第 1 回 令和 4 年 4 月 7 日 (公社) 全日本トラック協会
- ・令和 4 年度事業計画について
 - ・第 27 回全国トラック運送事業者大会について
 - ・令和 4 年度主要会議・行事開催日程について
 - ・燃料価格高騰にかかる取り組みと対応について
 - ・改善基準告示の見直しについて
- 第 2 回 令和 4 年 7 月 27 日 名古屋東急ホテル
- ・副会長の担務について
 - ・改善基準告示の見直しについて
- 第 3 回 令和 5 年 1 月 12 日 品川プリンスホテル
- ・令和 5 年度事業計画書(案)について
 - ・第 28 回全国トラック運送事業者大会開催概要について
 - ・令和 5 年度トラック関係施策に関する要望と結果について

3 (一社)近畿トラック協会関係

(1) 総 会

- 第 10 回定時総会 令和 4 年 6 月 21 日 新大阪ワシントンホテルプラザ
- ・ 令和 3 年度事業報告の承認について
 - ・ 令和 3 年度計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書等）の承認について
 - ・ 一部役員変更の承認について

(2) 理 事 会

- 第 34 回 令和 4 年 6 月 21 日 新大阪ワシントンホテルプラザ
- ・ 会員の入退会の承認について
 - ・ 定時総会開催対処について
 - ・ 「標準的な運賃」の周知事業について
- 第 35 回 令和 4 年 6 月 21 日 新大阪ワシントンホテルプラザ
- ・ 役付理事の選定について
 - ・ 会員の退会について
- 第 36 回 令和 4 年 10 月 11 日 ホテル阪急レスパイヤ大阪
- ・ 定款第 26 条第 5 項に基づく業務執行状況報告について
 - ・ 「標準的な運賃」の周知事業について
 - ・ 近畿地区物流政策懇談会について
- 第 37 回 令和 5 年 2 月 14 日 大阪新阪急ホテル
- ・ 定款第 26 条第 5 項に基づく業務執行状況報告について
 - ・ 令和 5 年度事業計画(案)・収支予算(案)について
 - ・ 令和 5 年度広報事業(案)について

(3) 幹 事 会

- 第 1 回 令和 4 年 4 月 12 日 (一社)大阪府トラック協会
- ・ 標準的な運賃の周知事業について
 - ・ 広報事業等について
 - ・ 環境キャンペーンについて
- 第 2 回 令和 4 年 9 月 27 日 (一社)大阪府トラック協会
- ・ 理事会開催対処について
 - ・ 近畿地区物流政策懇談会について
 - ・ Gマーク認定制度の認知に向けたラッピングトラック協力会社の推薦について
 - ・ 環境キャンペーンについて
 - ・ 標準的な運賃の周知事業について
 - ・ 広報事業について
- 第 3 回 令和 4 年 11 月 22 日 ホテルグランヴィア大阪
- ・ 近畿地区物流政策懇談会の対処について
 - ・ 標準的な運賃の周知事業について
 - ・ 広報活動について
- 第 4 回 令和 5 年 1 月 27 日 (一社)大阪府トラック協会
- ・ 理事会開催対処について
 - ・ 広報事業について

以上、令和４年度における主な事業の概要であります。
定款第 53 条の規定に基づき報告いたします。

一般社団法人兵庫県トラック協会
会 長 原 岡 謙 一